

2023 年度 個人研究実績・成果報告書

2024 年 2 月 18 日

所属	会計ファイナンス 研究科	職名	教授	氏 名	可児俊信
研究課題	アフターコロナでの企業の人事制度見直しの状況				
研究キーワード	福利厚生 成果主義 退職 金 社宅	当年度計画に対す る達成度	2.順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が達成できた		
関連する SDGs項目	4. 質の高い教育をみんなに	5. ジェンダー平等を実現しよう	8. 働きがいも経済成長も	3. すべての人に健康と福祉を	
1. 研究成果の概要 新型コロナも沈静化し、企業は再び業容拡大に邁進する。しかし、それはコロナ前と同じではない。グローバル化進展の後退、継続的なコストアップ、人口減に伴う人財の一層の重視等から企業の経営環境が急変した。企業は人事戦略の見直しを図り、人材の一層の活用を図る動きとなった。 そこで、転勤制度の見直し、在宅勤務・ワーケーション・副業解禁の3点セット、若手への報酬のシフト、属人的手当の廃止、成果主義への一層の傾斜が起きている。特に大企業ではこの動きが顕著に見えた。 同時に福利厚生も必要な従業員に与える物から公平に与えるものに移行しつつある。これらの事例を収集した。 2. 著書・論文・学会発表等 (できるだけご記入ください。査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載) 【論文 (査読あり)】 【著書・論文 (査読なし)】 「本質から考える福利厚生の意義」 (「人事の地図」産労総研、2023年9月号) 「人材戦略から考える福利厚生」 (「人事の地図」産労総研、2024年2月号) 【学会発表等】 3. 主な経費 交通費、専門書籍代、専門誌購入代、PC 関連費用 4. その他の特筆すべき事項 (表彰、研究資金の受入状況等) (本文は2ページ以内にまとめること)					